

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	芸術	科目名	音楽	単位数	2	履修学年・クラス	1学年
担当者		使用教材	「高校生の音楽1」(教育芸術社)				
学習目標	○芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。						
学習方法	○基礎的な楽典を学習することで自ら楽譜を読み、表現方法を工夫し歌唱、合唱をする ○歌唱、合唱などを通じ、ハーモニーの良さや一体感を感じとり高め、又、実技試験により、自らの表現を考え工夫し発表する						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	歌唱、器楽、合唱、鑑賞の学習の中で音楽・文化などに関心を持ち主体的に取り組もうとする				
	創	表現の創意工夫	音楽の要素を知り感受しながら歌唱、合唱、器楽、音楽表現に工夫し、意図を持って表現しようとする				
	技	表現の技能	創意工夫した音楽表現をするために基礎的な技術を身につけ創造的に表そうとする				
	鑑	鑑賞の能力	音楽の形式を理解し感受しながら作品・演奏について解釈したり、作品の価値をわかり、美しさを味わって聴こうとする				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	創	技	鑑		
前期中間	歌唱、校歌、精神歌	校歌、精神歌、季節を歌う	○	○	○	(関) 歌詞を理解し、積極的に声を出そうとしている (創) 歌詞の内容を感じとりイメージを持って歌唱表現工夫する (技) 譜面通りに歌うだけでなく自分の声をわかり、声に合う表現を考えている (鑑) 楽典の基礎を理解している (鑑) 時代背景や作曲家の生涯及びどのように楽曲に影響しているか感じとる	・発声法 ・歌唱 ・実技テスト ・考査	
	楽典	基礎的楽典	○					
	音楽史	古代～バロック音楽	○		○			
前期末	歌唱	愛唱歌に親しむ	○	○	○	(創) 曲の構成や雰囲気をつくり上げている要素を理解し意図をもって表現している (技) 自分の声に合う表現を工夫して歌おうとしている (創) リズムの持つ特徴を生かしながら表現を工夫している (技) 互いのリズムを聴きあいパートの役割を意識して演奏できる (鑑) 音楽史の各時代の特徴をとらえ流れをつかむことができる	・歌唱リズム ・実技テスト ・考査	
	器楽(リズム)	基礎的なリズム	○	○				
	音楽史	古典派の音楽	○		○			
後期中間	歌唱、合唱	二部合唱、三部合唱 宮澤賢治作品	○	○	○	(関) 合唱におけるパートの役割を理解し積極的に声を出そうとしている (創) 歌の内容を理解し、ふさわしい表現方法を工夫している (技) 他パートとのハーモニーを意識しながら美しく表現しようと追及している 客観的にとらえ、上手になろうと努力している (関) 諸外国の歌詞を読み簡単な意味を理解しようとする (鑑) 表現のちがいを感じとり聴きとることができる	・パート練習 ・とり組み ・合唱発表 ・小テスト	
	ドイツリート	独語、外国の歌曲	○		○			
後期末	オーケストラ器楽	楽器のしくみ、音色や役割 ヴィオルトーン	○	○	○	(関) オーケストラの楽器について歴史やしぐみを知り、調和の美しさについて感じとる (鑑) オーケストラの作品を身近に感じられている (関) 劇音楽に興味を持ち、登場人物の把握やストーリーの理解ができています (鑑) ストーリーを把握し理解を深め良さを味わって聴くことができています	・プリント学習 ・歌唱 ・実技テスト ・考査	
	音楽史	ロマン派の音楽～近代	○		○			
	ミュージカル歌唱		○	○	○			